

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 5 年 5 月臨時会	
議案番号 議案名	議案第 4 号 財産の取得について
議員名・会派名等	公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>ただいま議題となっております議案第 4 号財産の取得について、会派を代表して委員長報告に対して反対の立場から討論を行わせていただきます。この議案は「市役所用地として未利用国有地を取得し、施設の老朽化が著しく耐震性にも問題のある市役所を再整備することにより、利用者及び職員の安全を確保するとともに、大規模災害時には、隣接する公園など周辺施設と連携し相乗的に補完しあう災害対応拠点として活用するため提案」されました。</p> <p>松戸市が平成 26 年 10 月に国から相模台の国有地の売却意向を受けてから約 9 年、平成 28 年 6 月に財務省との国有地取得に向けた覚書を交わしてからでも 7 年、大半の方々が国有地は松戸市が譲り受けるべきとの意見であったと思います。その上で市は一つひとつ丁寧に国と協議し財産取得議案の成案化にこぎ着けました。この臨時会でこの機会を逃してはならないと思います。</p> <p>私が幼い頃の松戸市周辺はにぎやかで、活気が満ちあふれておりました。先人の方々が私たち世代に残してくれた贈り物と思います。今、駅周辺の商業・業務の衰退は明らかで、活力が失われてきております。そして、コロナ禍 3 年の影響も色濃く残っています。この国有地取得から私たちが次世代の市民へ新たな活気ある街を作りのスタートであり、未来への投資として魅力ある街を生み出す絶好の機会となります。それこそ、千載一遇のチャンスです。土地を買わない選択肢はありません。</p> <p>そして、また現状の市役所庁舎の老朽化は著しい。今後のスケジュール的にも現段階で結論を先延ばしできないと考えます。市役所機能再編整備基本計画も当初案から 5 年も議論し、審議会や市議会の議論も時間的に十分行い、先の委員会でも 改案の説明・議論がおこなわれました。庁舎移転はすべての人が賛成するベストな案ではないかもしれませんが、しかし、現地建て替えと移転の両案を比較検討でき、定量的・定性的な資料も示され、さまざまな角度から検討がなさ</p>

れた基本構想となりブラッシュアップされました。この基本構想において相模台の移転建て替えに変わる候補地はないと理解できます。

あらためて、災害が多発する現在、市庁舎の建て替えは一刻の猶予がない時間との闘いであります。また、市役所庁舎の建て替えは市民生活及び職員の働き方を左右する大変に重要な問題であります。市はコロナの経験を活かす視点で職員の働き方、市庁舎の在り方なども盛り込まれました。職員が働きやすい職場環境を早く提供し、仕事の生産性を向上させることそれ自体が市民サービスに直結して市民の満足度が向上します。できるだけ速く庁舎建て替えをしましょう。

私ども公明党は本市の進める新拠点ゾーンの開発が将来の松戸市発展の新たな礎になるものと同時に市役所の建て替えは単に市役所の建て替えに終わらせるのではなく、松戸駅周辺のまちづくりを一体的に進めていく第一歩にしなくてはならないと考えております。移転した場合は現庁舎の跡地を街づくりに活用もできます。跡地の活用と合わせて課題の多い東口の駅前広場の整備や道路の再整備など解決の呼び水にできると思います。

また、新拠点ゾーンはその構想にあるとおり、市役所を核に、駅からまっすぐに新拠点ゾーンに歩いていけるよう、プラレなどの事業者と共に整備も進められます。また、第三段階では図書館やギャラリーの整備が進みます。将来、相模台の台地一帯が市民の交流の場で憩いの空間として生まれ変わるものと確信しております。是非、実現に向け前に進めていただきたいと思っております。

最後に購入する相模台の土地は、松戸では古来より重要な施設があった歴史的に価値がある場所であります。鎌倉時代には城があり、戦国時代は古戦場、明治期以降は松戸競馬場、工兵学校、千葉大学工学部と時代時代に重要な施設利用がなされた松戸の貴重な中心市街地であります。現段階で最善の市役所用地であります。したがって、この地に市庁舎を作り将来世代につなげ残していけるよう念願しています。

以上、公明党を代表して、議案4号市役所用地としての国有地取得の議案に賛成すべきと訴え、委員長報告に対しては反対の討論いたします。